



蓄電池を用いたLEDフルカラー投光器搭載の照明車によって普段見ることのできない神秘的な夜の氷瀑をライトアップ。観光客は観光バスから昼とは異なる氷の絶景を鑑賞する(馬門岩)

奥入瀬渓流水瀑ライトアップ

OIRASE MOUNTAIN STREAM ICEFALL ILLUMINATION

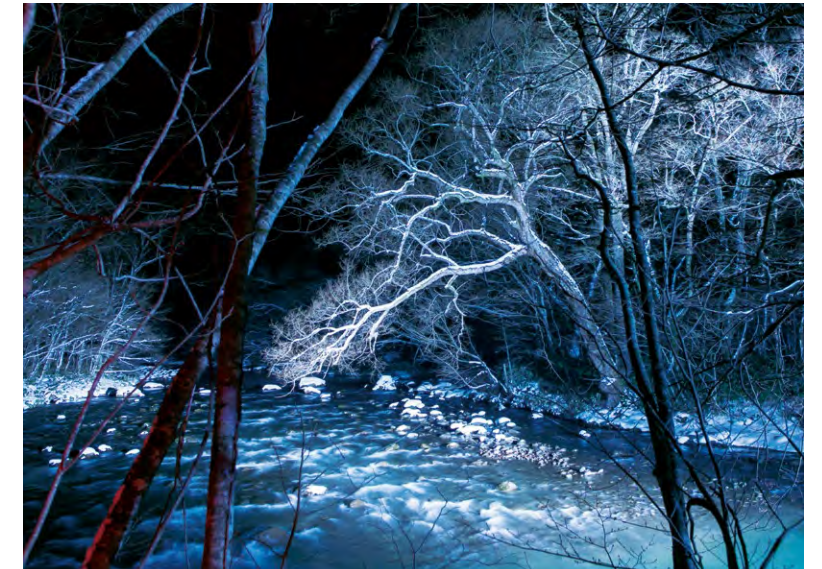
環境に配慮したライトアップで 地域の新たな観光資源を開発

国の特別名勝で天然記念物でもある奥入瀬渓谷は年間を通じた観光客の招致が課題だった。「奥入瀬渓流の新緑や紅葉の風景は多くの人に知られているが、冬の氷瀑や凍結した岩肌の魅力を知る人は少ない。ここは国立公園の特別保護地区なので照明器具が設置できず、夜の氷瀑を見ることは困難だが、手が付けられていないこの自然を堪能できないかと考え、照明車が奥入瀬渓流を移動してライトアップを行うツアーを計画した」と語るのは、十和田市観光商工部部長 本宿 貴一氏。今回採用されたのは、LED

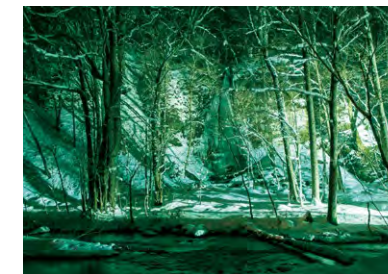
フルカラー投光器「ダイナベインター」を搭載した照明車で観光バスを先導し、6カ所のポイントで氷瀑や氷柱をライトアップする提案。照明車にはライトアップ投光器と照明コントローラに加え5kWhリチウムイオン蓄電池を搭載。蓄電池から電力を供給するため電源工事や発電機が不要で環境負荷も抑制。狭角と中角の投光器を組み合わせることで照射による生態系への影響も最小限に抑えるように配慮している。このプロジェクトには2018年度から冬期営業を開始した星野リゾート 奥入瀬渓流ホテルや地元観光事業者も参加。国立公園での幻想的な冬の自然景観による新たな魅力づくりが始まっている。

奥入瀬渓流水瀑ライトアップ

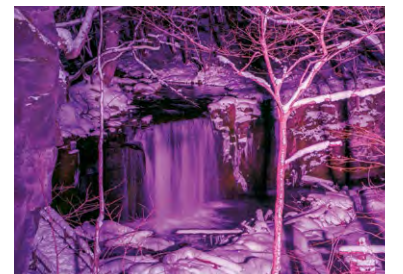
所在地 / 青森県十和田市大字奥瀬
 施主 / 十和田市
 照明設計 / パナソニック株式会社 エコソリューションズ社
 施工 / パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社
 電気工事 / パナソニックESエンジニアリング株式会社
 実施期間 / 2018年1月～3月中旬



木の陰と川面の動きを光で演出している紫明溪



落葉した冬だけ見通せる白糸の滝



カルデラ湖の朝日の移ろいを表現した鏡子大滝



投光器と蓄電池を搭載した照明車



中角・狭角・中角、3台のダイナベインター

演出シーンの動画が
ご覧いただけます



主な設備

- LEDフルカラー投光器「ダイナベインター-4」
- LEDフルカラー投光器「ダイナベインター-6」
- コントローラM
- リチウムイオン蓄電池 5kWh